

地域と共にある学校づくり

# 信州型コミュニティスクール

## 北信地区活動だより

NO. 15 (令和2年8月) 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

今年は新型コロナウイルス感染防止の為に、様々な活動が中止、延期、縮小となっています。第15号では、行事が中止になったことを、工夫した活動を展開することで子どもの力を伸ばすチャンスに変えていこうと取り組んでいる事例を紹介します。

### 木島平小



## 「子ども達が企画する 八丈島宿泊体験学習代替行事」

### Ⅱ 活動までの経緯

木島平小学校では、毎年八丈島の小学校や地元の皆さんとの交流活動を行っています。夏は木島平小の5年生が八丈島を訪れ、冬には八丈島の5年生が木島平村を訪れます。

しかし今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、八丈島での宿泊体験が中止となってしまいました。

学校では「子ども達にとって貴重な体験学習の場面だ。何とかして代替りになるような学習が実現できないだろうか」という思いから、子ども達自身が宿泊行事の行き先や日程を企画する、代替行事を考える学習を進めることとしました。「行事の中止を機に、代替行事案を5年生の社会科学習の内容である地理的分野の学習と関連させながら、自分達の行事計画を自分達で調べ、立案する学習へと展開していく」ことで、自分との関係で考えにくい地理学習も、自分事として引き寄せることができ、より主体的な学びへのチャンスになると捉えました。

### Ⅱ 子ども達へのねがいを共有する「学校運営協議会」

学校運営協議会では、学校のねがいを受け止めて、どんな応援ができるのかが話し合われました。その中で、「村の関係者に発表することで、子ども達に目的意識を持たせることができる」「ディスカッションすることを通して、考えをより広めることができる」ことを共通理解し、八丈島宿泊体験学習代替行事についての発表会に協力することとなりました。

当日は、学校運営協議会で発表会の司会進行を務め、学校運営協議会委員、村議会議員、教育委員会の皆様が発表を参観し、子ども達とのディスカッションを行いました。



## II 発表→ディスカッションを通して考えを見直し→深める

発表会では、グループ毎に自分達の計画について説明しました。5つのグループから発表された行き先は、「鳥取」「富山・石川」「静岡」「石川・福井」「京都・滋賀」と様々。子ども達は、その場所で何を見てきたいのか、旅行の日程、見学場所のポイントなどを発表しました。

発表後は、グループ毎に分かれてのディスカッションが行われました。ここでは「どうしてその場所を選んだのですか?」「全員に聞きますが、楽しみにしている場所はどこですか?」「この日程では厳しいのではないかなあ」等、大人からの意見に対して子ども達が答えていくという生きたやりとりが見られました。

ディスカッションを通して考えたことをもとに、今後さらに計画を練り上げていく予定です。

最後に、参加した皆さんから子ども達へ次のような感想が伝えられました。

皆さんが自ら決めていくこの体験が、これからの時代に生きてくると思います。いろんな面での発想を大事にして欲しいと改めて思いました。大人が考えて子どもが参加する。これまでの行事のあり方を、これからは見直さないといけないと感じています。



今後、子ども達の計画案を汲みながら、学校、村の関係者、旅行会社で正式な計画が立案されます。子ども達にとって、自分達で考えた計画がどのように反映され、どう決まって行くのかを知ることは「主権者教育」の入口にもなると捉えられます。木島平村では今後も学校と村関係者が協力して子ども達の育ちを支えていきます。



### ポイント

活動で大事にしたいことを共通理解した上で、そこに向けてできる支援を積極的に行った事例です。

共通理解に基づいた、子ども達の良かった姿を伝えることで、子どもも自らの良さを意識できます。



### 「子ども達の参画をどのようにとらえていくか」

木島平村教育委員会では、子ども達の参画の度合いを知る指標としてロジャー・ハートの「子どもの参画の梯子」を紹介しています。活動に応じてどのような参画を目指したいのかを考える一つの資料としてみてはいかがでしょうか。

- 一段…操り参画
- 二段…お飾り参画
- 三段…形だけ参画

非参画

四段…子どもは仕事を割り当てられるが、情報は与えられている

(与えられた役割の内容を確認した上での参画)

五段…子どもが大人から意見を求められ、情報は与えられる

(大人主導で子どもの意見提供ある参画)

六段…大人が仕掛け、子どもと一緒に決定する (大人主導で意思決定に子どもが参画)

七段…子どもが主体的に取り掛かり、子どもが指導する (子ども主導の活動)

八段…子どもが主体的に取り掛かり、大人と一緒に決定する (大人を巻き込む)

**子どもは変革の担い手として明確なビジョンと目的の下、大人を巻き込んでいく存在である。**

地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に向向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたらと思います。

■■ お問い合わせ先 ■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1  
Tel: 026-234-9552 E-mail: [hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp](mailto:hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp)